

近畿本部経営工学部会2023年2月度 定例会・研修会 議事録

日時	2022年 2月 11日(土)	13:30 ~ 16:00
開催場所	WEB (Zoom) のみ	
出席者	64名	担当幹事 萩野 新、北川昭浩

1. 開会挨拶 荒井部会長 (13:30~13:40)
64名という過去最高の出席者となりました。本年度はいろいろ運営を工夫してきましたが、本日も意見交換の場があります。活発なご発言をお願いします。

2. 研修会 講演60分・質疑応答30分・討議30分 計120分 (2.0時間) (13:30~13:40)
・演題 「デジタル現場改善」ーベンダーいらずの手作りITツールで品質改善・生産性向上ー
・講師 酒本昌子技術士 (経営工学、金属、機械、総監)
研修会記録をご確認ください。

3. 部会活動報告及び諸連絡事項 など

(1) 技術士会関係活動実績

- ・ 1/15(日)13:30- 「防災・減災シンポジウム」神戸防災のつどい2023 中央区文化センター+Web
- ・ 1/21(土)14:00- 「近畿本部/新春講演会」(大阪科学技術センター+Web)
- ・ 1/28(土)10:00- 「堺科学教育フェスタ」(堺市教育文化センター)
- ・ 2/ 1(水) 「第8回協賛団体特別セミナー」(大阪科学技術センター)

(2) 今後の主な活動予定

- ・ 2023年度役員候補者選出選挙が始まっています。
現在役員候補の立候補登録を実施中です。月刊技術士をご確認下さい。
- ・ 2/18(土)13:00- 「倫理シンポジウム2023」(大阪科学技術センター)
- ・ 3/15(水)午後 統括本部/技術士活性化委員会 技術支援基礎講座
「企業支援における環境視点(省エネルギー・CO2削減)の取組み」
- ・ 4/15(土)午後 技術士第1次試験 合格祝賀会 (大阪科学技術センター)
- ・ 5/18(木)-19(金) 「インフラメンテ国民会議近畿フォーラム2023」出展 (花博記念公園)
- ・ 6/15(木)午後 統括本部 定時総会(東京)
- ・ 6/17(土)午後 近畿本部 年次大会(未定)
- ・ 5/27(土) 第2次合格者祝賀会 (部会ポスターセッションあり)
- ・ 7/16(日)-17(月) 技術士第2次試験 (申込受付 4/3(月)~4/17(月))

(3) 近畿本部 経営工学部会

- ・ 4月例会&研修会 4/8(土) 13:30~16:00
「(仮)大規模災害からの生活再建と事業再生
～阪神・淡路大震災&東日本大震災から南海トラフ地震に向けて～」
小島和彦 技術士 (建設、総合技術監理)
- ・ 6月例会&研修会 6/10(土) 13:30~16:00 渡部正人 技術士 (経営工学、環境)
※6月例会日程は、上記の通り6/10に変更になっています。ご注意ください。

(4) 部会長からの連絡事項

- ・ 近本も「CPD行事新申込システム」に移行し参加申込・会費徴収・CPD実績入力に簡素化する。
この機に本部会も活用し少額の有料化を3月幹事会で検討する。4月総会で運用をお願いする。
- ・ 現役員体制は2023年4月の総会で任期満了。3月に役員選挙を行います。

4. 自由発言、その他

- (1) 業務研究会と経営工学部会は合同で見学企画（年2回、宿泊と日帰り）を実施。
現在、滋賀石川ルート(1泊2日)を検討・交渉中。確定すれば改めて連絡する。(間島技術士)
- (2) 統括本部の「なりわい支援ワーキンググループ」。近本から坂井・杉山両技術士が参加。若者の地元離れを防ぐべく釜石・大船渡の起業支援を行っている。先般芝商業高校で出前授業を実施し好評で、都の他の商業高校からも発注を受けつつある。将来は近畿でも開催の可能性。興味ある方は連絡を頂きたい。(坂井技術士)
- (3) 会員人数や講演数の観点で、当部会の方向性を聞きたい。(妹尾技術士)
 - ・幹事会で議論を重ねている。CPDの参加機会が増えている中で当会が裾野を広げるより、サイズ感を含めて当会の特色を生かし独自性を伸ばすことが大切と考える。(荒井部会長)
 - ・人数よりも、進め方の幅を広げることが大切。1wayだけでなく2way3wayの仕組みにしていくべきと思う。(間島技術士)
 - ・統括本部の経営工学部会も年6回だが、月ごとに、新メンバー歓迎・協賛団体講演・会員講演などの枠組みをもうけ年間の開催計画を立てている。参考にして当会の良さを出してほしい。(坂井技術士)

6. 閉会挨拶（～16:00）

世の中が大きく変わると過去のやり方が通用しなくなる。「書き順」はかつて重要だったが、キーボードの前には意味がない。自動車も「所有する財産」であったが、これからは移動手段の一つとして「シェアするもの」に変わりつつある。我々もこういう変化は念頭において技術の研鑽に励んでいきたい。(担当幹事：萩野技術士)

以上